



(写真は、装いも新しく発展する伊万里市、遠くに名村造船所)

5

会報むつごろ

昭和 58 年 10 月 15 日 発行

福岡市佐賀県人会

(発行責任者 溝上 嘉幸)

福岡市中央区天神 4 丁目 1-6

昭和セントラルビル内(〒810)

☎ 092-761-8253

制作 (有)タナカ製本印刷所

☎ 092-441-2552



武士道というは死ぬ事と見付けたり、「葉隠」の有名な言葉。分別に迷つたとき一途に進む。複雑な現代社会こそ大切な魂だ。

江頭 慶典 54 県民会議(3)
東区。会商工水産常任委員長。
■ 東背振村出身。

佐賀県人会員の県議・市議
選挙結果
東区。会商工水産常任委員長。
■ 諸富町出身。

篠田栄太郎 46 自民党(4)
中央区。早稲田大卒業。県議会文教常任委員。
■ 東背振村出身。

田中 久也 50 自民党(4)
西区。明治大卒業。県議会厚生常任委員。
■ 佐賀市出身。

前田 憲義 53 自民党(3)
東区。福岡大卒業。県議会総務常任委員。
■ 富士町出身。

岡部 茂夫 46 無所属
太宰府市。東京経済大卒業。市議会厚生水道常任委員。
■ 伊万里市出身。

武藤 英治 31 自民党(1)
城南区。慶應義塾大卒業。県議会総務常任委員。
■ 江北町出身。

この春の統一地方選挙で選ばれた福岡市佐賀県人会の会員の県議(福岡市選出)、市議(福岡市・太宰府市)九人の簡単なプロフィール、「県人会にひとこと」をご紹介します。

福岡県政、福岡市政に、これからも活躍が期待されます。(五十音順)

古賀 輝昭 47 福政会(4)
東区。国立九工大(短)卒業。市議会第三常任委員。
■ 千代田町出身。

選挙期間中、「あんた佐賀ンもんかい」「おいも佐賀ンもんじやん」という言葉のやりとりが、もつとも勇気づけられた。

佐賀県人会に、福岡の佐賀ンもの活力を結集して、さらに発展させましょう。今後とも、ご指導をお願い申し上げます。

市議(福岡市・太宰府市)

この春の統一地方選挙で選ばれた福岡市佐賀県人会の会員の市議(福岡市選出)、市議(福岡市・太宰府市)九人の簡単なプロフィール、「県人会にひとこと」をご紹介します。

福岡県政、福岡市政に、これからも活躍が期待されます。(五十音順)

南原勇一郎 59 自民党(4)
博多区。満州国立新京法政大卒業。市議会第三常任委員。
■ 武庫市出身。

私の亡母は、武雄市西川登町小田志で生れ育ちました。懐しいふる里佐賀。私は、今後とも県人会の発展のため努力したい。

佐賀市出身。
父(故助)と、私と、二代にわたり、県人会の方々、お世話になります。市政発展のため頑張ります。よろしく。

宮副 博昭 37 自民党(2)
南区。西南学院大卒業。市議会第一常任委員。
■ 佐賀市出身。

佐賀市出身。
父(故助)と、私と、二代にわたり、県人会の方々、お世話になります。市政発展のため頑張ります。よろしく。

岡部 茂夫 46 無所属
太宰府市。東京経済大卒業。市議会厚生水道常任委員。
■ 伊万里市出身。

皆様のおかげで、今春から太宰府市議会に参画することができました。今後ともご指導のほどよろしくお願いします。

(妻の縁によつて)佐賀県人会に仲間入りさせてもらっています。今後とも、暖かいご指導、ご支援をお願いいたします。

この春の統一地方選挙で選ばれた福岡市佐賀県人会の会員の市議(福岡市選出)、市議(福岡市・太宰府市)九人の簡単なプロフィール、「県人会にひとこと」をご紹介します。

福岡県政、福岡市政に、これからも活躍が期待されます。(五十音順)

篠田栄太郎 46 自民党(4)
中央区。早稲田大卒業。県議会文教常任委員。
■ 諸富町出身。

佐賀県人会員の県議・市議
選挙結果
中央区。早稲田大卒業。県議会厚生常任委員。
■ 東背振村出身。

前田 憲義 53 自民党(3)
東区。福岡大卒業。県議会総務常任委員。
■ 富士町出身。

武藤 英治 31 自民党(1)
城南区。慶應義塾大卒業。県議会総務常任委員。
■ 江北町出身。

この春の統一地方選挙で選ばれた福岡市佐賀県人会の会員の市議(福岡市選出)、市議(福岡市・太宰府市)九人の簡単なプロフィール、「県人会にひとこと」をご紹介します。

福岡県政、福岡市政に、これからも活躍が期待されます。(五十音順)

南原勇一郎 59 自民党(4)
博多区。満州国立新京法政大卒業。市議会第三常任委員。
■ 武庫市出身。

私の亡母は、武雄市西川登町小田志で生れ育ちました。懐しいふる里佐賀。私は、今後とも県人会の発展のため努力したい。

佐賀市出身。
父(故助)と、私と、二代にわたり、県人会の方々、お世話になります。市政発展のため頑張ります。よろしく。



写真は、(上) 恒例の金子会長、永倉名誉会長の鏡割り
(下) 金子会長のあいさつ。



盛況の主役は佐賀弁だった

福岡市佐賀県人会「昭和五十八年度定期総会」は、郷土の香りの濃いふるさと佐賀は隣県の月熊雄知事、西村重雄佐賀新聞社専務取締役(社長代理)などの来賓を迎えて、永倉三郎名誉会長、金子宣嗣会長はじめ会員約四百人が集まり、さる六月八日、はかた会館(福岡市中央区医院四丁目)で開き、非常に盛況でした。

金子会長は、「総会」と、長期振興プランを説明して、「あいさつしました。また、永倉名誉会長も、「福岡の政財界に、佐賀県人の力は意外に根強いものがあります」と、佐賀の「佐賀弁もんパワー」を強調。香月熊雄知事は、佐賀県の新しく期振興プランを説明して、「あいさつしました。佐賀新聞社専務取締役にも、お祝いのメッセージをいただきました。佐賀新聞も届き、佐賀の酒、銘菓、食品といったおみやげのプレゼントも、非常に好評でした。

同日付のふるさとニュース「佐賀新聞」も届き、佐賀の酒、銘菓、食品といったおみやげのプレゼントも、非常に好評でした。佐賀新聞社専務取締役ともに、紅白リボンをつけた木ヅチをふるつての

鏡割り」で幕あけ。ビール、酒をくみかわして、「佐賀弁の話」もばずみ、ステージの歌や踊りもぎやかでした。

佐賀新聞も届き、佐賀の酒、銘菓、食品といったおみやげのプレゼントも、非常に好評でした。佐賀新聞社専務取締役ともに、紅白リボンもぎやかでした。



写真は日蓮上人の銅像(東公園)

「材料に」婦人の鏡5・8ト

明治35年4月23日

待望の起工式

「日蓮上人銅像の材料にして
ください」。信徒の婦人たちが

創立事務所(現・福岡市中央区

天神四丁目一)に寄進した鏡

は、大阪に送り、溶解して不純物

を除いたあとで、東京美術学校

に届けられました。このためか

この総重量5・8ト—銅像

総重量70tの十二%に達し、

日蓮上人の首部铸造材料の一部

に使用されました。このためか

「首から上部と、銅体と、地金

日蓮上人の首部铸造材料の一部

に使用されました。このためか

「首から上部と、銅体と、地金

日蓮上人の首部铸造材料の一部

に使用されました。このためか

の色が、なんとなく異つて
るといわれています。

建立当時から、「お隣りの亀

山上皇の銅像よりも、日蓮さん

の銅像が地膚のキメが細かい

とひそやかにささやかれていた

といいます。この理由は、女性

に愛された鏡が上人像に混じつ

ているからだろ」と信じられて

いるようですが、技術者たち

は、表面の仕上げが丁寧であり

とくに信徒たちの応援で入念に

みがきあげられた効果が大きい
とみています。

予算約11万円を計上
のち赤字処理に悩み

銅像の造営予算十万円、原型

彫刻費九千八百円を見積つてい
ました。だが、長い期間にわたる

大工事の例にもれず最終的には

三十万円をオーバー。大幅赤字

を出し残務処理に困惑していた

ところ、谷口鉄工所が、「赤字

分は全部引き受ける」と申し出

て、万事解決したそうです。当

時、米の値段は十キロ当たり八十
六錢くらいでした。

苦心したお顔づくり
キメ手は60歳の肖像

つぎに問題になつたのが、日
蓮上人のお顔でした。

というのも、いろいろの資料
を集めましたが、どれが最も似
ているのか判断に迷い、また、
あちこちから、「ウチの日蓮上
人の顔にしてほしい」という申
し入れも相次ぎ、困ったよう
です。

このために鎌倉・本覚寺にあ
る「読経の像」(享保時代作)、

活躍した佐賀県人

武内 良次さん

(筆者は、

中牟田倉之助 佐賀蓮池の金
丸文雅の二男、嘉永元年に叔
父中牟田武貞の跡目を継ぎ、
長崎海軍伝習所に学びました
のち横須賀鎮守府長官、海軍
大将校兼海軍参謀部長、初
代の海軍軍令部長。旧日本海
軍の創設者といわれます。

✓ 福岡市佐賀県人会理事・堅粕支部長
まるまん倉庫株式会社 取締役社長

原

進

基山町出身 大正14年生

会社 〒816 福岡市博多区東那珂2丁目10-57 電話 092-411-4659
自宅 〒816 福岡市博多区東那珂2丁目8-32 電話 092-411-7016

ふる里は、近くにありても懐
しき。私が生まれ育った唐
津市大名小路は、今も、地名は
昔のままですが、残念なことに

城下町の面影は消えてしまいま
した。しかし、唐津名物として、
今もにぎわっているのは唐津大
明神の秋季大祭と、これに従つ



佐賀県人会副会長
高田省三さん

での五十九年間、各町内に次つ
ぎと作られて、十四台の山笠が

現在もその勇姿を見せているわ
けです。

唐津くんちは、どの家でも自由に
内が山笠を作つたことは、當時
の風潮と唐津城下の商業振興策
と考えることが出来ます。

今年も、山笠の季節を迎えま
す。あちら、こちらの家々から
昔に変わらぬハヤシの音が流れ
てきます。お年寄りから若者に
親から子供へと引継がれ、人び
とを励ますように、また由緒あ
る伝統を守るために、高く低く
響いて来ます。

引出しづめ、砂浜にめりこん
だ山笠を力のかぎり引出す。あ
れども、三月倒れ」とか
大盤振る舞いをして、出費に頭
来となりました。

今日でも、三月倒れ」とか
唐津くんちは、どの家でも自由に
飲食いさせる」といわれる由
來となりました。

来となりました。

唐津くんち

て市中を引回る山笠の豪華絢爛
(けんらん)な唐津供日(くん
ち)であろうと思います。

唐津曳山の魅力
今年も、山笠の季節を迎えた
唐津くんちは、どの家でも自由に
内が山笠を作つたことは、當時
の風潮と唐津城下の商業振興策
と考えることが出来ます。

今年も、山笠の季節を迎えた
唐津くんちは、どの家でも自由に
内が山笠を作つたことは、當時
の風潮と唐津城下の商業振興策
と考えることが出来ます。

来となりました。



唐津觀光メモ
唐津曳山展示場 唐津くんち
(供日)、国の重要無形民俗文化
財の主役——曳山十四台が勢
ぞろい。ぜひ、見たいところ。
唐津市出身

大手口バス停から歩いて三分。
(唐津市西城内)
唐津城 初代領主寺沢志摩守
が慶長十三年(一六〇八年)築
いた桃山様式の天守閣で、昭和
四十一年に再現。内部には歴代
城主、キリシタン、古墳時代の
歴史資料を展示しています。

入場料は二百円(子供百円)
(唐津市東城内)
唐津市歴史民俗資料館 繩文
—弥生期の出土品、地機(はた
—、玄海の捕鯨、和紙すきなど
郷土の資料を展示。
日曜日・祝日・年末などが休
み。(唐津市海岸通り)



伊万里トントン祭り（伊万里市）は、日本三大ケンカ祭りのひとつ。十月二十二日一二四日の三日間、ミコシ（香橋神社）、ダンジリ（戸渡島神社）が、市内の目抜き通りで、ガッブリ四つに組み、争います。雄壮さで、全国に有名です。

昭和五十年春、福岡大学商学
四年が本番。ご神幸のお供をして華麗な曳山十四台が、威勢よく市内をねり回ります。

祇園山鉾（京都）を手本にした「伊万里太鼓」実演もあるそうです。

唐津くんちと曳山



元祖 大原
松露餃豆

創業嘉永三年

■福岡店/中央区大手門 (092) 712-6667

手づくりの心をこめて



起源は六百六十年前、南北朝の争いにのつたといいますことは、来年の市制三十周年記念行事のひとつに、二十三日一二二十四日、新しく誕生した唐津神社（唐津市）の秋祭り

伊万里トントン祭り

伊万里トントン祭り（伊万里市）は、日本三大ケンカ祭りのひとつ。十月二十二日一二四日の三日間、ミコシ（香橋神社）、ダンジリ（戸渡島神社）が、市内の目抜き通りで、ガッブリ四つに組み、争います。雄壮さで、全国に有名です。

活躍する佐賀県人たち

九州トップのパンメーカー「リヨーユー」管理本部商品管理部係長さん。出身地は、八幡岳ふもと、ナシ、ブドウなどの「フルーツ觀光」で有名な伊万里市大川町。「大川町は、秋はゆめたかに実ったナシのおいしさが評判です。ぜひ、ナシ狩りにおいでください」と目を細めました。

昭和五十年春、福岡大学商学
四年が本番。ご神幸のお供をして華麗な曳山十四台が、威勢よく市内をねり回ります。

祇園山鉾（京都）を手本にした「伊万里太鼓」実演もあるそうです。



元祖 大原
松露餃豆

創業嘉永三年

■福岡店/中央区大手門 (092) 712-6667

おいしいパンの送り出し役

リヨーユー 平山 真澄さん(31)

部を卒業。同社に入つたそうですね。「先輩がいてすすめられたし、農家の後継ぎだったので、近いところに……」というのが動機でした。

これまで商品の品質管理ひとつをやっています。会発足は昭和四十六年一月一日曜日午後一時から市民会館（中央区天神五丁目）で定例会を開き、試作品の研究や会誌「発明福岡」配布はじめ各種行事をやっています。

佐賀県人会にひとこと 美し

い福岡市民に、穏やかな青葉を映す美しい「お濠端」と昔日の姿を残す「長崎街道」を見て歩いていただ

くようピーアールしてほしい。

佐賀県の眞ん中にそびえる名峰「天山」（高さ一〇四六メートル）山頂には、南北朝時代に、南朝方の忠臣阿蘇惟直をまつる「阿蘇の塔」があります。

佐賀市は、葉隠發祥の地であり、華麗な佐賀錦、色鮮やかな肥前ビードロ、鍋島絞通などの伝統工芸品を生んだ文化の香りに満ちた県都。

昨年、「活気あふれる水と緑の文化都市」を都市像とした佐賀市総合計画を決定。二十一世紀に向かって大きく飛躍する第一歩を踏み出しました。

当面、最大の課題は、総合文化会館の建設と企業誘致。また、市内の川に清流を呼び戻した市民運動（『水対策市民会議』）を緑のまちづくりに、市民の健康づくりに発展させることです。

阿蘇の塔



佐賀市 市長 島 剛さん

い。『夢多き市長』です。佐賀市は、葉隠發祥の地であり、華麗な佐賀錦、色鮮やかな肥前ビードロ、鍋島絞通などの伝統工芸品を生んだ文化の香りに満ちた県都。

佐賀市は、葉隠發祥の地であり、華麗な佐賀錦、色鮮やかな肥前ビードロ、鍋島絞通などの伝統工芸品を生んだ文化の香りに満ちた県都。

佐賀市は、葉隠發祥の地であり、華麗な佐賀錦、色鮮やかな肥前ビードロ、鍋島絞通などの伝統工芸品を生んだ文化の香りに満ちた県都。

時が育みつけてきた肥前の味と香りをいまに

村岡羊羹

本店 佐賀県小城町 861 (0952) 021311
佐賀製本店 佐賀市高木瀬町東高木瀬 (0952) 021311

ふるさとの首長



佐賀市 市長 島 剛さん

宮島市長は、昭和二十四年東大法学部を卒業し、厚生省入省。富山県に出向、婦人児童課、税務課、商工課各課長を務めて同省にもどり、医務局次長、薬務局長、大臣官房長を歴任。五十四年から佐賀市長。現在二期目です。五十七歳。

健康法は、自転車による市内散策。おかげで、市内は隅々まで熟知。「市長さんは、私達よりも、地元のことば知つとらす」ともつばらの評判です。寸暇を惜しんでの読書は歴史関係が多い。たまには職員相手に鳥鷺合戦に火花を散らします。人情厚

をやっています。

会発足は昭和四十六年一月一日曜日午後一時から市民会館（中央区天神五丁目）で定例会を開き、試作品の研究や会誌「発明福岡」配布はじめ各種行事

佐賀県人会にひとこと 美しい福岡市民に、穏やかな青葉を映す美しい「お濠端」と昔日の姿を残す「長崎街道」を見て歩いていただきようピーアールしてほしい。

佐賀県の眞ん中にそびえる名峰「天山」（高さ一〇四六メートル）山頂には、南北朝時代に、南朝方の忠臣阿蘇惟直をまつる「阿蘇の塔」があります。

佐賀市は、葉隠發祥の地であり、華麗な佐賀錦、色鮮やかな肥前ビードロ、鍋島絞通などの伝統工芸品を生んだ文化の香りに満ちた県都。

佐賀市は、葉隠發祥の地であり、華麗な佐賀錦、色鮮やかな肥前ビードロ、鍋島絞通などの伝統工芸品を生んだ文化の香りに満ちた県都。

佐賀県人会にひとこと 美しい福岡市民に、穏やかな青葉を映す美しい「お濠端」と昔日の姿を残す「長崎街道」を見て歩いていただきようピーアールしてほしい。

佐賀県の眞ん中にそびえる名峰「天山」（高さ一〇四六メートル）山頂には、南北朝時代に、南朝方の忠臣阿蘇惟直をまつる「阿蘇の塔」があります。

佐賀市は、葉隠發祥の地であり、華麗な佐賀錦、色鮮やかな肥前ビードロ、鍋島絞通などの伝統工芸品を生んだ文化の香りに満ちた県都。

佐賀市は、葉隠發祥の地であり、華麗な佐賀錦、色鮮やかな肥前ビードロ、鍋島絞通などの伝統工芸品を生んだ文化の香りに満ちた県都。

新会員ご紹介

(敬称略=氏名、連絡先・電)
(話番号、職業、出身地の順)

田代 博	川崎 真里	加茂 信幸
▽筑紫電業社▽伊万里市	▽大阪電気暖房▽浜玉町	事務所▽佐賀市 (力の部)
筒井 實吉	▽博多千代郵便局▽大町	店▽多久市 (ナの部)
森永 勝次	久保田 雅道	中村 律子
▽博多港開発▽佐賀市	▽伊万里市	徳久 英二
森永 法	▽森永法	▽佐賀銀行渡辺通支 (トの部)
律事務所▽小城町	▽伊万里市	山下 信一
(会員)	(サの部)	昭和バス旅行社▽唐津市 (ワの部)
石倉 茂	坂本 隆二	渡辺 文雄
(イの部)	▽石橋建築事務所▽佐賀市	11・5278▽アスカ商会 △唐津市
稻毛 熊喜	城島 加代子	編集アスク
▽信和ビル▽三田川町	(シの部)	「むつごろ」の広告
大隈 敏	▽サロン・ド・アカブルコ	広告スペ
▽豊伸工業▽浜玉町	▽神埼町	欄をご利用ください
(オの部)	▽昭和セントラル保険部	一ス、一
大石 忠生	▽久保田町	回当たり広告料金はつぎの通り
▽啓電社▽三田川町	▽佐賀市	です。
小川 昌吉	三宅 昭弘	〔全〕〔段分〕幅十五×高さ四×以内(二万円)
▽サンボー食品▽基山町	▽佐賀市	〔一段二分の二〕幅七・四
町	市	×高さ四×以内(一万円)
田中 高次	市	〔一段四分の二〕幅三・六
組合▽北茂安町	市	×高さ四×以内(五千円)
▽福岡市役所▽有明	市	〔（ヤ）の部〕

(相談役)

久保田 雅道	林 俊雄	中村 律子
▽伊万里市	タニカ▽伊万里市	徳久 英二
▽みえ荘	▽日本ブリ	▽佐賀銀行渡辺通支 (ナの部)
(ハの部)	タニカ▽伊万里市	山下 信一
坂本 隆二	菱ヶ江 勇	昭和バス旅行社▽唐津市 (ワの部)
▽石橋建築事務所▽佐賀市	▽佐賀市	渡辺 文雄
(シの部)	▽佐賀市	11・5278▽アスカ商会 △唐津市
城島 加代子	深川 貞輔	編集アスク
▽サロン・ド・アカブルコ	▽昭和セントラル保険部	「むつごろ」の広告
▽神埼町	▽久保田町	広告スペ
(タの部)	▽佐賀市	欄をご利用ください
田中 利雄	満瀬 榮子	一ス、一
▽昭和セントラル保険部	▽佐賀市	回当たり広告料金はつぎの通り
▽佐賀市	▽佐賀市	です。
(ミの部)	▽佐賀市	〔全〕〔段分〕幅十五×高さ四×以内(二万円)
三宅 昭弘	▽佐賀市	〔一段二分の二〕幅七・四
▽昭和バス	▽佐賀市	×高さ四×以内(一万円)
市	▽佐賀市	〔一段四分の二〕幅三・六
市	▽佐賀市	×高さ四×以内(五千円)
市	▽佐賀市	〔（ヤ）の部〕

会員の作品をおまちしていますの相互交流をしましよう。

創作、随想、釣り自慢、レジヤー紀行文、短歌、俳句、子供たちの作品、サークルの仲間づくり——なんでも歓迎します。絵画、書、造形作品などは写真をお送りください。

「むつごろ」は、年に四回発行しています。広告掲載ご希望の方は、お早めに、ご連絡ください。なお、勝手ですが、掲載位置などについては事務局におまかせください。

問合先は、〒八一〇福岡市中央区天神四丁目一一六、昭和セントラルビル、県人会事務局。

投稿作品には、テーマと住所・氏名・年齢・職業・学校・学年・出身地を記入して、お送りください。あて先は、〒八一〇福岡市中央区天神四丁目一一六、昭和セントラルビル、県人会事務局。

「むつごろ」は、年一回当たり広告料金はつぎの通りです。

〔全〕〔段分〕幅十五×高さ四×以内(二万円)
〔一段二分の二〕幅七・四×高さ四×以内(一万円)
〔一段四分の二〕幅三・六×高さ四×以内(五千円)

（武内良次さん執筆）もいよいよ本番入りです。

会員の県議・市議のプロフィルを紹介します。

「ふるさとニュース」などの記事写真是、佐賀新聞社の提供です。

（広報委員会）